

# 素敵な助産師さん、見~つけた!

小原井さんからパトンを頂きました谷本真弓です。小原井さんには、香川県助産師会に入らせて頂いたときに色々教えて頂きました。今でも気軽に声を掛けて頂けるのが本当に嬉しいです。

香川県には頼りない子供の進学について来たのですが、主人も香川県を気に入って移住計画を立てています。香川県は災害がなく都会でもなく田舎でもなく、年寄ってからゆっくり暮らせる県なのかなと思っています。

私は和歌山県田辺市出身です。地元での思い出は、紀南の3 婆助産師との関わりです。3 人の助産師は戦中・戦後の話や様々な症例について、逆子の回し方等、多岐にわたる多くの事を教えてくれました。色んな相談にもものって頂きました。先生方が居てくれたお陰で沢山の学び・活動ができ、本当に感謝しています。坂本助産所はオープンシステムだったので、坂本助産師のアドバイスを受けながら友人達の妊娠出産を介助しました。友人達が妊娠出産・育児を楽しめるように関わったのかなと思います。母子手帳に私の助産所名が入り凄く嬉しく責任を痛感しました。開業した頃は、母子行政が県から市町村に移行した時期でもあり、市の担当者として色々話し合いました。訪問で関わった困っている母子を坂本助産所に招いたり、子育てサークルを作り、栄養士や保育士・絵本の読み聞かせ会のメンバー等色々な職種の方や地域を巻き込んで母子を孤立させないように活動してきました。坂本助産師が行っていた小中高校「いのちの教室」を引き継ぎ、講義も行いました。日々が楽しくてやりがいのある活動を行わせて頂きました。子供の進学に合わせ、和歌山市・香川県へと転居し全ての活動を中止しました。唯一いのちの教室だけは続けてきましたが、コロナが原因で中止となりました。今は、高松市の赤ちゃん訪問と三木町での活動を行っています。ぼちぼちこれから自分に出来る事は何かを考えながら活動していきたいと思っています。今後も皆様よろしくお祈りします。



# とらうべ通信

2022. 4月号  
No.99

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176  
発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

## 会長挨拶

会長 宮本 政子

3月初めまでは例年より寒かったのに急に暖くなり、黄砂の到来やスギ花粉も非常に多いようです。とくに、黄砂は高松市が全国で一番早く観測され全国ニュースになったりしました。花粉症の方には辛い春になりましたが、花粉症を早期に治療することは新型コロナ感染症防止にも役立つそうです。日本に新型コロナ感染症が上陸して3年目の春を迎えました。不安定な世情の中、会員の皆様には母子やご家族のために日夜ご苦労いただき、心より御礼申し上げます。



さて、令和3年度香川県助産師会では中国四国地区助産師研修の開催や香川県からの委託事業、すこやか助産師センター活動、会員研修などを行ってまいりましたが、マタニティヨーガや産後ヨーガなどの教室活動や、「ほっと相談室」がコロナ感染拡大のため一部中止になりました。妊娠中や乳幼児を育てているお母さま方の不安を表出する場として開催を希望される方は多いので、感染症対策を重視しながらなるべく開催を継続したいと考えています。また、コロナ感染拡大のため会場が使えなくなり「新生児蘇生法」の研修会が中止になりました。参加を希望された会員の皆様には心よりお詫びします。この研修では使用する機材も多く、密着して行う演習もあるのでご理解を頂きたいと思います。さらにコロナ感染拡大の関連では、令和4年度の香川県助産師会総会もオンライン開催としました。今回ご案内を同封しましたが5月15日(日)にZOOMで開催します。2年間書面決議が続いたので何とか対面の総会を考え研修会も企画しておりましたが残念です。一部の研修はオンデマンド配信にして多くの会員の方にご視聴いただけるようにしたいと考えています。今年度の研修計画では別途ご案内しますが、赤ちゃんの性教育や、新生児の発達、口腔の健康問題などLoCMiP®レベルⅢの申請に使える研修を企画しております。多くの参加をお待ちしております。日本助産師会の動向では会員研修の申し込みが会員マイページから申し込めるようになりました。また、産後ケア実務助産師研修の修了認定も継続しております。変動する社会の変化により母子保健ニーズは多様化及び複雑化しており、とくに産後ケア事業の充実が求められております。助産師の高い専門的能力が必要なので、産後ケア事業に興味のある会員の皆様はぜひ認定申請をお願いします。



★総会のお知らせ：5月15日(日)一般社団法人香川県助産師会通常総会は午前10時からZOOMによるオンラインで開催されます。是非会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、総会御欠席の方は、同封の委任状の提出を香川県助産師会事務所までお願いします。(締切4月30日まで)

★推薦委員会からお知らせ：令和4年5月15日(日)総会において令和4年度の役員改選を行います。

《候補者名》

- |                        |                 |            |
|------------------------|-----------------|------------|
| 会長 宮本 政子(現)            | 副会長 直井 初美(現)    | 佐々木 三千代(現) |
| 総務 小原井 恵美(現)           | 勤務部会長 森本 典子(現)  |            |
| 保健指導部会長 関亦 頼子(現)       | 助産所部会長 松尾 真璃(現) |            |
| 推薦委員 小松 千秋(現) 城下 利香(現) | 財務 中橋 尚子(現)     |            |
| 監事 香川加代子(現) 竹内 美由紀(新)  |                 |            |

以上推薦委員会より出された候補者名です。

尚当日の議上推薦を受けます。立候補される方はお知らせください。



## 4~9月の研修会及び行事

「演題名」 講師名	開催日時 場所	定員	参加費	
			会員	非会員
「新生児のフィジカルアセスメント」 香川大学医学部付属病院小児科医師 小谷野耕佑	オンデマンド配信期間 7月1日(水)~8月31日(水)	—	1500円	2500円
日本助産師会第95回通常総会 第78回日本助産師学会 「助産師が地域をはぐくむ」	5/27 通常総会(ストリーミング配信) 5/28 学会(オンライン生配信) 5/30~6/30 講演(オンデマンド配信)	—	※詳細は日本助産師会ホームページ、学会誌にて	
「赤ちゃんから始める性教育」 助産院ゆるり院長 鈴木佳奈子	7月3日(日)10時~11時30分 いのちの応援舎(高松市春日町1176)	25	1500円	2500円
「歯科医が助産師に伝えたいこと」 もりぐち歯科クリニック院長 森口善夫	9月11日(日)10時~11時 いのちの応援舎(高松市春日町1176)	25	1500円	2500円

\*年間計画の変更は、「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

参加の申し込み\*すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

Tel: 087-844-4131 Fax: 087-844-4130 電話受付時間: 月から金曜日の10:00~16:00(祝祭日を除く)

「新生児のフィジカルアセスメント」はLoCMiP必須研修に認定されております。香川県助産師会ホームページに申し込みのアドレスを掲載しますのでご確認ください。



2022年2月6日聴講会場も設けたWEB開催となりました。香川県の保健医療・福祉・教育の現場から子どもたちの健やかな成長・発育を願い居場所づくり等に取り組まれている先生方によるシンポジウムが行われた。

コロナ禍の中、子どもたちがどんなことに困っているか、大人が意識して見られるように放課後受け皿事業として第三の居場所を提供したり、子ども食堂を提供したりして、地道な活動を続けることが地域の豊かさにつながると信じて活動を展開されている先生方の姿を見てすばらしいと思った。

スクールカウンセラーの熊谷美紀先生の講演の中で愛着の完成には、子どもの心に、二つの確信が生まれる。

- ・自分は愛されていて困ったときには助けてもらえる。そういう価値のある存在なんだ。
- ・親がそうしてくれたように自分が求めたら、他の人もそれに応えてくれるんだ。

この二つの確信は親と子の愛着関係を安定させ親以外の全ての人間関係の基礎である。私たち助産師も両親学級や新生児訪問で児に対するスキンシップ大切さや抱っここの大切さをしっかり伝えたい。

最近、耳をふさぎたくなるような児童虐待事件が相次いでいる。ありえないと口で言いながらも、みんなときには、子どもから逃げ出したくなる瞬間があると気がついている。

24時間、365日フル営業の子育てすべてを母親一人で抱え込むのは不可能。つらい時は「つらい」と言えるよう助産師が母親に寄り添い支えられるよう頑張りたい。



「周産期危機管理について～助産師に望む対応～」を受講して  
小豆島中央病院 山本佳子

2022年1月23日に、香川県助産師職能委員会が主催し香川県看護協会助産師出向支援事業として研修が開催された。ドラマ「コウノドリ先生」のモデルである、りんくう総合医療センター周産期センター長の荻田和秀医師を講師に迎えリモートで「周産期危機管理について～助産師に望む対応～」という内容でお話しいただいた。

先生は、香川医科大学を卒業され香川で過ごした経験から時々さぬき弁を使いながら、穏やかな口調で1.大阪における周産期救急体制について、2.お産の本質について、3. COVID-19 妊婦の対応について、4. 妊婦の心肺停止について話された。

2. お産の本質については助産師として、今一度原点に戻りお産とは？を考える機会になった。妊娠・出産は生理現象で多くは医療介入を必要としないが、無事に終了して当たり前であると認識されていることから、分娩助産者の技量が過大・過少評価されやすく統計学的検証がなされていない事象が多いことが現状であるといわれている。そこで必要になってくるのは、エビデンスに基づいたケアであることを再認識することができた。印象に残ったことは、分娩中の飲食に関しては、コンセンサスはなく少なくとも活動期での飲食は制限すべきといわれていることや、分娩第1期の歩行は分娩時間の短縮には寄与しないこと、6回以上の内診は感染リスクが上がるなどを知ることができた。私が行っているケアの中でもルーチンで行っている分娩前の導尿や分娩中の飲食については医師と相談し検討する必要があると感じた。

3. COVID-19 妊婦の対応、4. 妊婦の心肺停止に関しては、スタッフ間で共通の認識を持つためにしっかりとコミュニケーションをとりシミュレーションを重ねることで対応できる力を養っていることが良く分かった。また COVID-19 妊婦の分娩進行が経産婦では2～3時間、初産婦では7～8時間と早く、経膈分娩で対応していることや、搾乳し母乳栄養を行っても感染していないことも知ることができた。ただ母子分離は避けられず、リモート面会などを行っていたが、初めて対面できた母が赤ちゃんを抱っこして「あったかい」と言ったというエピソードは助産師として考え悩むものであった。

1. 周産期救急体制では救急隊が院内でのCPA症例にも出動し対応するシステムがあり蘇生でき、母も子ども元気な生活が送れている事例紹介があり、香川でも取り入れることが必要なシステムだと感じた。

COVID-19の終息にはまだ時間がかかりそうだが、母と子に一番近い存在である助産師として出来ることを頑張っていきたいと思える研修であった。

実施日	令和4年2月1日
開始	2月1日 10:00
終了	2月1日 20:16
会員数	137名
設定	震度5強の地震が発生

2月1日に令和3年度香川県助産師会の安否確認訓練を実施しました。本会では、会員の所属部会や勤務施設、活動地域等でグループ分けを行い、それぞれの状況に合わせて電話、ショートメール、LINEなどを活用し、トップダウン方式（会長→副会長、部会長、委員長→会員）で安否確認を行っています。皆様にご協力いただき、同日中に会員137名の安否確認をすることができました。  
**ご協力ありがとうございました。**

長年、南海トラフ地震の発生が危惧されており、また近年は、各地で台風や集中豪雨などの自然災害が発生しており、防災に対する備えや対策の必要性を感じていることと思います。香川県助産師会災害対策委員は、日本助産師会の災害対策委員会連携集会に参加し、災害支援を経験された新潟県、広島県助産師会の活動報告を聞き、各地の助産師会と情報交換をしました。それらを参考に、現在の災害対策について見直しを行っているところです。安否確認訓練は、毎年順調に実施できていますが、実際に災害が発生した時にこれらが機能していくのか、他にどんなツールが活用しやすいのか、会員の個人情報の管理はどうしたらよいのか等課題は山積みです。また、実際に本会がどんな備えをしているのか知らない会員の方も多いのではないのでしょうか。追って、皆様にご紹介できたらと思っています。

災害は、起こらないに越したことはありませんが、いざという時に会員の皆様とご家族の安全が守れるよう、そして地域の母子の支援ができるよう備えておきたいものです。

**ご意見やアイデア等ありましたら、ぜひ香川県助産師会事務所までお知らせください！**



助産専攻科での学びを通して 香川県立保健医療大学 助産学専攻科10期生 池崎史織

私は香川県立保健医療大学助産学専攻科の学生です。昨年4月に入学し、今修了を目前に迎えています。この1年は助産師になるために仲間とともに一生懸命に学ぶ日々でした。中でも特に印象深いものは、沐浴についての動画作成でした。この動画は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各市町村や医療機関での母親学級や育児技術を習得する場を設けることが困難な状況であるため、県子ども家庭課と共同して、お母様に育児に関する正しい情報を提供するために作成することになりました。



動画を作成するにあたり、実習での経験を参考にしました。そして、実習では沐浴に対する不安を抱えたまま退院されるお母様と多く出会いました。私たちは、実習で出会ったお母様の疑問や不安な点に焦点を当てたポイントに絞った動画を作成しました。特に不安が多かったのは赤ちゃんの抱き方やうつ伏せにする方法などでした。この動画を視聴することで不安や疑問を解決し、楽しみながら赤ちゃんとのスキンシップの場である沐浴を行うことができるようにという願いを込めて動画作成に取り組みました。また、学生自身も正しい知識・技術を身につけ、実践できるように練習を重ね、見やすい角度での撮影など試行錯誤を繰り返しました。そして、4月から香川県内で就職するにあたり、この学びを活かして助産師として成長していきたいと思っています。完成した動画は、県ホームページ内の「子育てかがわ」情報発信サイトColorful等で行うとともに、各市町の子育て支援のホームページからもリンクできるようになっており、お母様だけでなく赤ちゃんを取り巻く家族の出産・育児の支援に繋がることを願っています。

動画はQRコードからもアクセスできますので、是非ご覧ください。



**香川大学大学院医学系研究科看護学専攻助産学コース、香川県立保健医療大学助産学専攻科の皆様、助産師国家試験に合格されました！おめでとうございます！！**